

こばやし かずゆき
小林一幸 議員

人権 LGBTQ+ 理解促進に 向けた取組は

「私の視点」

LGBTQ+の皆様の安心安全な生活を守るために、同性パートナーシップ制度を導入すべきだと質問し、来年度から導入する運びとなった。



つ き だ ひ と し
月田 均 議員

情報 どう考える？ チャットGPT の利用

「私の視点」

話題のチャットGPT。「非常に有効だ」との意見がある一方で、「いや問題あり」とする意見もある。実態はどうか、早期にこの情報ツールの研究に入るべきだ。

答弁(町長) パートナーシップ制度を導入予定

問 LGBTQ+の方への理解促進に向けた取組について、町ではどのように考えているのか。

答(町長) 町として、生きづらさを感じている性的マイノリティの方々が安心して普通の生活が送れるような「多様性・寛容さのあるまちづくり」を町民とともに進めていきたいと考えている。その取組の一つとして、現在、同性カップルなど性的マイノリティの方々をパートナーとして公的に認める制度(パートナーシップ制度)の早期導入に向け、要綱の策定準備を進めている。

問 制度の導入は、いつ頃か。

答(企画課長) 人権対策協議会の委員の意見を伺いながら要綱を作成し、来年4月にはスタートさせたいと考えている。

5類に移行となった現在の感染対策

問 感染予防対策について、「町としての方針」を打ち出すよう、これまで質問をしてきたが、全く回答がない。

新型コロナウイルスは5類に移行となったが、町の対策はどのように考えているのか。

答(町長) 引き続き、ホームページや広報、メルタマ等を活用し、国や県が提供する必要な情報を町からも発信しながら、ワクチン接種対象者への提供体制を維持していきたいと考えている。また、感染拡大時には、保健所と連携し、必要な対策を講じていきたい。

多文化共生社会の実現に向けた取組

問 当初予算に対し、ここ数年は執行額が少ないが、なぜか。

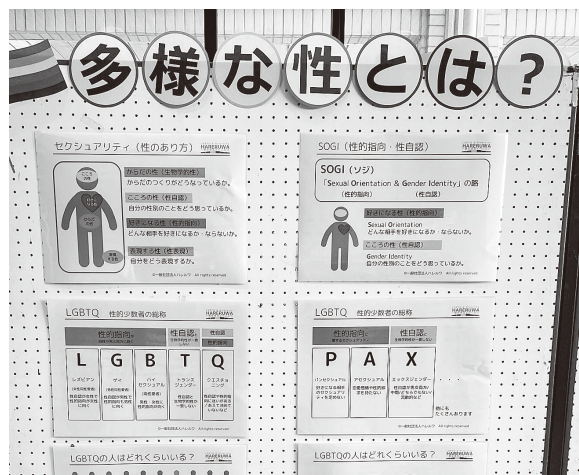
答(企画課長) コロナ禍の影響により、交流会や委員会等を控えていたためである。

問 令和4年度の予算を組むときには、すでにコロナ禍であった。コロナ禍でも事業ができるよう予算立てし、執行していくべきではないか。

答(企画課長) ご指摘のとおりであり、昨年度できなかった事業が実施できるよう、取り組んでいきたい。

問 今年度の予算に組まれた事業の進捗は。

答(企画課長) 今年度は、外国籍に関連がある企業や当事者等の意見を聞く機会を設け、多文化共生社会の実現に向けて生かしていきたいと考えている。現在、意見を聞く方々を選定しているところである。



多様な性の理解への第一歩
同性パートナーシップ制度が来年度導入に!

答弁(町長) 活用方法を研究していきたい

問 対話型人工知能「チャットGPT」は、質問に対して、まるで人間のように自然でクオリティの高い回答をしてくれるため、一部の自治体や政府の機関では、その活用の動きが出ている。「あらゆる業務を効率化する」という意見もあるが、個人情報の不正収集、誤情報の拡散の恐れがあるなどの指摘もある。町では「対話型人工知能」の利用について、どのように考えているか。

答(町長) 他自治体の検証状況や国の環境整備などの対策を見極めつつ、有効なデジタルツールの一つとして、活用方法を研究していきたい。

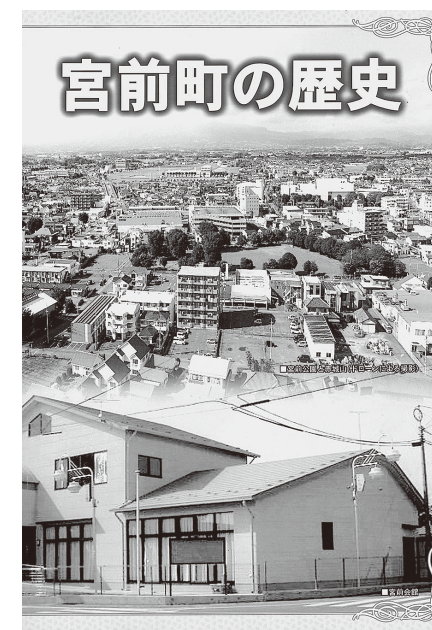
問 大学教授らが「その回答はもっともらしく見えるため、おいしい毒リンゴとして、情動的な健康を侵害しうる」と指摘している。副町長が先頭に立ち、良い点、悪い点は何か、至急研究を始めるべきであると思うが、どうか。

答(副町長) リスクもあるので、その点を考慮して研究を進めていきたい。

地域の歴史を後世に残すための取組

問 伊勢崎市宮前町の住民有志が、冊子『宮前町の歴史』を発刊したとの新聞記事があった。戦前は農村地帯、戦後は銘仙の生産地として栄え、その後、住宅地へと大きく変化した。この変化の中、貴重な文化財、記録や情報を今残さねばという思いで作成したとのことである。

玉村町の各地域においても、この50年で大きく変化した。歴史をまとめ、後世に残すことは大切なことと思うが、町にその考えはあるか。



地域の有志で作成した冊子『宮前町の歴史』
玉村町の歴史をどう伝承するか

答(教育長) 歴史講座の開設や地域の歴史を後世に残す取組等への支援に努めていきたい。

問 歴史講座や区長の会議等で、地域の歴史の冊子作成について、話ができないか。

答(生涯学習課長) 自分が暮らす地域の歴史を知り、地域に愛着を持つことは、総合計画の「暮らすなら、ここがいい。」の第一歩にもなる。その一つとして地元の歴史を後世に残すことは、大変意味のあることである。今後も歴史講座や生涯学習等の場など様々な機会を捉えて、雰囲気づくりを行っていきたい。

こんな質問もしています

- ・多面的機能支払交付金の活用について
- ・超軽量動力機(ウルトラライトプレーン)不時着のニュースについて

